

平成 28 年大磯町議会

3 月定例会一般質問（2 月 25 日・26 日）

質問議員	質 問 事 項（ 1 日 目 ）	答弁者
1 7 番 二宮加寿子議員 (60 分) 9:05～10:05	1. 「次世代の学校・地域」創生プランについて 文部科学省が 5 カ年計画「次世代の学校・地域」創生プランを公表した。 「チーム学校」とは、学習指導の充実やいじめや貧困などの多くの課題に対応するため、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー、部活動指導員を配置し、教員の負担軽減や質の高い教育を目指すものである。 そこで、プランの以下の事項について問う。 (1) 「チーム学校」の考えは。 (2) 学校のインターンシップの導入は。 (3) 地域と学校の連携として、保護者や地域住民による支援組織の機能強化は。 (4) 「コミュニティ・スクール」の考えは。 2. 地域における妊娠・出産・子育ての包括的な支援づくりについて 妊娠期から就学前までの健やかな成長・発達・家族全体の心身をサポートする切れ目のない支援を行う施設が話題となり、期待が高まっている。 本町の取り組みについて、以下の事項について問う。 (1) 町の産前・産後の子育て支援の現状は。 (2) 産前・産後の支援で、特に産後ケアを提供できる体制の構築が必要と思われる。訪問事業と産後ケアの事業を結びつけ連動した事業展開は。	町 長 教育長 町 長
2 3 番 関 威國議員 (40 分) 10:25～11:05	1. ジョンソン社から寄贈された街路時計を修繕する用意はあるか 表題の街路時計は、ジョンソン社が昭和 47 年 7 月に本社工場を大磯町に移転した記念に、国府地区 5 カ所に寄贈されたものである。24 年後の平成 8 年に大磯本社工場を閉鎖し、本社は横浜へ、工場は掛川に転出するにあたり、街路時計の維持管理は地元企業に広告を兼ねた時計として移管された。 ジョンソン社が転出した後、時を刻まなくなった街路時計は 3 カ所あり、寂しい町のシンボルとなっている。 平成 26 年 11 月の議会報告会で住民から修繕の要望に対して、町は回答しているが実行されていない。町は修繕する用意があるか具体的な対策案を問う。 (1) 寄贈された経緯とジョンソン社転出後の維持管理は。 (2) 街路時計の所有者と町の関係は。 (3) 街路時計の現状と対策案、及び実施時期は。	町 長

3 10番 片野 哲生議員 (30分) 11:25～11:55	1. 町の農業政策は現状のままで良いのか 中崎町長が就任してから5年が経過した。この間、農業政策は従前からの流れが続き、今日まで変化のないまま行われている。町の将来の農業に明るい光が見えて来ないと感じている。 大磯町も少子高齢が進み、専業農業従事者の多くが高齢者である。若い農業従事者を探すことは難しく、その結果、荒廃農地が拡大し、イノシシ等が耕作農地に出没することにより、被害は増加の一途をたどっている。ミカン畑、野菜畑、田んぼの稲作も減少し、荒れ放題になっている現実を町はどう捉えているのか。 また、この先の農業政策に明るい光をあてるべきと考える。 そこで、今まで、現在、そして今後の観点から、町長の農業政策に対する見解を伺う。 (1) 過去5年と現在の町の農業政策と農業の実態を町長はどう認識し、どのように把握しているのか。 (2) 将来の町の農業政策として、平成28年度及びその後の農業政策についての見解は。	町 長
4 11番 高橋 英俊議員 (40分) 13:00～13:40	1. 第9次大磯町交通安全計画について (1) この計画の基本方針では、「人優先」の交通安全思想を基本とし、高齢者、障がい者、子ども等の交通弱者に配慮した交通安全施策を推進するとあるが、現状はどうか。 (2) この計画期間は平成23年度から平成27年度までの5年間とされているが、現在の計画がどのように総括をされ、次の計画をどのように作成していくのか。 2. 町道幹17号線ルート検討調査について 平成7年度に町道幹17号線ルート検討調査委託を行い、平成8年3月にその報告書が提出された。その内容について伺う。	町 長 町 長
5 6番 奥津 勝子議員 (50分) 14:00～14:50	1. 大磯駅発車メロディ変更についてを問う 今、JR東海道線駅の発車メロディが、その市、町の特色を表した曲で流れている。平塚市は「七夕さま」、二宮町も菜の花で観光客を呼ぶ期間ということで「おぼろ月夜」の曲が1月9日から流れている。 大磯町も、日本で最初の海水浴場開設の地として「われは海の子」のメロディに変更するという考えはいかがか。 2. マイナンバー制度への町の動きを問う 平成28年1月よりマイナンバー制度での事務が開始された。通知カードの郵送状況、個人番号カードの交付手続き等、町の現状と課題を伺う。	町 長 町 長

6 1 2 番 鈴木 京子議員 (90 分) 15:10～16:40	1. 町と自衛隊の関係はどうか 中崎町長はこの1月、自衛隊神奈川地方協力本部平塚自衛官募集相談員会長らと会っている。経緯と真意を町民に明らかにしていただきたい。 また、昨年神奈川新聞が行った安保法案のアンケートに町長は回答されなかった。合わせて理由を伺う。 2. 町民の声をどう受け止め対応されるか 要望は数多くあるが、特に以下の5件に関し、町の問題・課題のとらえ方と対応を問う。 (1) 恒道会について。 (2) 中学校給食について。 (3) 駅前駐輪場について。 (4) 役場隣の葬儀場について。 (5) 石神台の太陽光発電設備について。 3. 国民健康保険事業を町民本位に運営するには 国民健康保険事業について、以下の2点を問う。 (1) 低額所得者の負担軽減について。 (2) 広域化の対応について。	町 長 町 長 教育長 町 長
--	---	--

質問議員	質 問 事 項 (2 日 目)	答 弁 者
7 2 番 竹内恵美子議員 (60 分) 9:00～10:00	1. 「大磯はつらつサポーター事業」について この介護ボランティア制度は、平成 17 年稲城市が国へ創設提案したのが始まりである。 本町でも平成 26 年 4 月から始まり、2 年が経過した。進捗状況はいかがか。 (1) ボランティア数と事業所の推移は。 (2) 町民からの意見はどのように生かしているか。 (3) 来年度の町の負担はどうか。 (4) 今後の方向性は。 2. 石神台 J R 新幹線北側緑地の有効活用について 緑地は日本の原風景。日本人の多くにとって、今も心のふるさととして刻み込まれているのではないかと。 今、本町では高齢化率が 30% を超え、少子高齢化、2025 年問題等、様々な課題に直面している。近年、手ごろにできるウォーキングは健康保持のためには身近な運動として大変人気がある。 そこで、この町のすばらしい自然環境をもっと有効に生かしていくべきではないかと。 先日、1 月 30 日・31 日に石神台の北側、五洋建設からの寄付地でシクロクロスが行われた。私も緑地があることは知っていたが、回覧で知り、実際に見学してこのような方法があることを知った。 そこで、地域活性化のために、もっと自然を生かした有効活用を考えてみてはどうか。	町 長 町 長

8 13番 渡辺 順子議員 (90分) 10:20～11:50	1. 住み慣れた場所で安心して暮らせるために (1) 2025年には全国で65歳以上の人口が3500万人に達し、その中で認知症高齢者は350万人になると推計されている。特に都市部においては急速な高齢化が進み、神奈川県の高齢者人口は226万人、全国で3位と推定されている。 ①大磯町の状況はどうか。 ②在宅の介護・医療を担う体制の充実が求められるが、システムの構築は進んでいるのか。 ③施設しか受け皿のない人にとって老人介護福祉施設・恒道会は欠かせない存在だが、職員の離職が続いていると聞いている。危機感を持って情報収集をすべきだが、現状はどうなっているか。 (2) 障害者差別解消法が本年4月から施行される。法律では国の機関、地方自治体、民間事業者に対し、障がい者への不当な差別を禁止したうえで、必要な配慮をするよう義務付けている。 ①法における障がいとは。 ②町の取り組みは。 (3) 子どもの貧困は大きな社会的損失である。 ①大磯町における貧困率は。 ②その支援策は。 2. まちづくりについて問う (1) 町は先人から受け継いだ良好な住環境を守り育てるため、環境基本計画、緑の基本計画、景観計画などを策定し、さらに平成26年には緑化の推進及び緑の保全に関する条例を施行するなど、緑化の推進に取り組んでいると認識している。 特に、大磯町にとって市街化緑地の保全と推進は重要であると考えるが、進捗状況を問う。 (2) 駐輪場建設や中学校給食の実施に当たって住民の意見が充分反映されなかったという町民からの意見もあり、自治基本条例の見直しが始まっている。会議の進捗状況はどうか。	町 長 教育長 町 長
9 9番 玉虫志保実議員 (60分) 13:00～14:00	1. 大磯駅前自転車駐車場について (1) 保証期間について (2) 障がい者、高齢者、電動機付き自転車利用者等、町民から寄せられる苦情、要望には、どのようなものがあるか。また、解決策は。 2. 大磯町立中学校給食について (1) 大磯町の考える中学生への食育とは。 (2) 給食開始から現在までで考えられるデリバリー給食のメリット・デメリットは。また、デメリットに対する解決策は。 (3) 異物混入と食中毒に対する大磯町の考え方は。 (4) デリバリー給食業者との契約終了後、大磯町立中学校給食の方向性は。	町 長 町 長 教育長

1 0 5 番 三澤 龍夫議員 (40 分) 14:20～15:00	1. 空き家対策について 各地でさまざまな空き家対策・定住対策が行なわれているが、町はどのように考えているのか。 今までの取り組みについても問う。	町 長
1 1 1 5 番 柴崎 茂議員 (90 分) 15:20～16:50	1. 恣意的に便宜をはかっていないか (1) 業務委託先や町長職務権限の行使に際し、便宜供与はないか。 (2) 神奈川県職員であった栗原匡賢副町長は、中崎町長の期待に応えて町民生活の向上に寄与しているか。 ①大磯町民の交通安全は確保されているか。 ②広域施設（仮称）大磯町リサイクルセンターの事業者決定は妥当か。 (3) 藤家崇教育長は、中崎町長の信頼に応えて、大磯町義務教育に貢献しているか。 ①国府中学校修学旅行の件の問題の本質は何か。 ②学校と警察との相互連携に係る協定を結ぶことは妥当か。	町 長 教育長

1 1 名 1 9 問

※時間は、事情により変更になる場合がありますのでご了承ください。